

派遣受入団体等	都道府県名	奈良県	
	団体名	広陵町	
支援の方法	課題対応アドバイス事業		
本事業を活用しようと考えた目的	<p>老朽化が進む公共施設について、行政として利用者の安全性の確保を行うため、公共施設等総合管理計画に基づき、施設の整備（複合化及び集約化）を行うこととしていたが、施設利用者から単独整備を求める声があり、客観的な視点での議論を進めるため、専門的知見を有するアドバイザーに参画いただくことで、より現実的で効果的な良策へと近づけることを期待したため。</p>		
スケジュール、主なアドバイス内容	アドバイスを求めた項目	施設整備に係る技術的知見の供与、公民館等のコミュニティ施設のあり方に関する知見の供与等	
	1回目	9月21日	庁舎の再編及び公民館等の再編に係る本格的な実施に向けて、施設の劣化状況の確認及び建築基準法の準拠状況を再度確認し、その他の跡地活用が見込まれる公共施設についても併せて現場確認を行っていただいた。
	2回目	10月27日	各公共施設の稼働状況を考慮し、公共施設の各諸室の機能を集約化できるか見解をご説明いただいた。また、現時点で想定される、公民館建替えに伴うプラン（更新・長寿命化・機能移転等）について、課題となるであろう事案を共有していただいた。
	3回目	11月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設再編成に向けて、劣化の著しい中央公民館のホールと諸室の分散化案について、複数案を投資効果、LCC、諸条件を議論した。 ・ホールについて、規模と席の形態(固定席、平土間、移動型)について、それぞれの設置場所や建築的な可能性を検討した。さらに、近隣市町のホールの共用可能性も検討した。
	4回目	2月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・機能移転をする場合、移設先において必要となる機能や想定していくべき事案について、他団体の例に基づいた内容を共有していただいた。 ・アンケート等による現在の利用者に係る情報から、将来の利用が想定される年代やそれに伴う諸室のあり方の分析について助言していただいた。
本事業を活用した取組の進捗・成果※	<p>庁舎再編や公民館再編に係る整備方針について、単独建替えを望む方々から建替えのみを望む意見を強く主張されており、当方の意見について聞き入れてもらえない状況であったが、アドバイザーからの意見や補助をいただくことで、再整備について公平性のある選択肢を抽出でき、提示できるようになったと感じている。また、広陵中央公民館の機能をその他の公共施設へ分散させる場合の実現可能性についても、技術的な観点から助言をいただいたことで、説得力のある住民説明用資料が完成する見込みである。再整備についての整備方針案を複数提案していただく等、基礎的な事柄について補助していただいているが、次年度は住民の声を加味しながら、本町としての基本方針を策定する必要があるため、令和6年度中にはその完成をめざし、継続して協力を得ながら実施したいと考えている。</p>		

<p>本事業を活用して良かった点</p>	<p>全国的に公平性のある基準により、フラットな選択肢を複数提示していただけたことは、行政が恣意的な判断の下、公共施設の再編案を作成している訳でないという大きな裏付けとすることができた。</p> <p>また、技術的な知見をいただけることだけでなく、住民合意形成の取り方や全国的な公共施設のあり方について等、色々な知識を得ることができた。</p>
<p>今後本事業の活用を検討する団体へのアドバイス</p>	<p>行政だけで考えることには限界がありますし、大学教授等の有識経験者の助言をいただけるのは、とても良いヒントになります。また、それらを基に作成された資料もしっかりとした根拠に基づくものとなるため、本事業の活用により有識経験者の助言を得ることは、議会等へのコンセンサスを得ることについても十分なアドバンテージになると思います。</p>